

モニターレポート(6月報告)

【報告内容①】

6月30日、阿賀野川頭首工から早出川右岸羽下地先まで下り、早出川右岸三本木大橋まで、最後のモニター活動をしました。

今年は諦めていたカッコウの鳴き声を聞いたり、タカ、キジ、ヒバリ、カラス、スズメ、ヨシキリの姿や鳴き声も聞くことができました。

赤い野バラが何本も咲いていました。自然の力強さも感じました。三本木大橋から下流の左岸のヤナギの木がずいぶん生長しているのは気になります。また、除草が進んでいて、見た目もさわやかに思いました。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川は、早出川も含め、野鳥が多く生息し、自然豊かなところですよ。

ヤナギの木は、大きくなると河川の流下能力を阻害することもありますので、流下能力が低下した所から伐採を行っています。

堤防除草は、台風前までに1回、秋までに1回の年2回行っており、堤防の異常を早く発見するために実施しています。

【報告内容②】

6月23日、善願地区で、ツツガムシ退治の伝統行事「虫送り」が行われました。かつて、阿賀野川、早出川流域では、ツツガムシが大量に発生しました。原因不明の風土病として住民は恐れ、ツツガムシに罹っても軽く済むように、神仏として祀り、毎年祈願するなど、神仏の加護に頼るしかありませんでした。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川のツツガムシは、過去に比べると減少しています。最近では、マダニによる被害が各地で報告されていますが、新潟県ではまだ発生報告はありません。地球温暖化で、害虫の生息分布が変わってきているのでしょうか。河川に来られる際には、長袖など肌の露出の少ないものが良いと言われてしますので、ご参考に願います。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

この一年間、モニター活動を行ってきました。昔から阿賀野川で泳ぎ、鮎釣りをしてきたので、どちらかと言うと、この川との関わりは多い方だと思っていますが、改めてこの阿賀野川の豊かな環境に驚かされる事も多くありました。

また、阿賀野川では、様々なイベントが行われていますが、もっと多くの方に関心を持ってもらえたら…と思う一年でした。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川は、現在でも自然豊かな川であり、それは昔から変わっていません。

川幅が1kmもある大河川であり、高いビルも近隣にはなく、堤防に立つと越後の山脈や飯豊山地が見渡せるというのが阿賀野川の魅力です。野鳥等も多く見られます。

阿賀野川で行われているイベントですが、各区役所単位や、その地域の主催で行われており、多くの方の関心を持ってもらうのは、重要なことと考えております。

【報告内容④】

阿賀野川を愛するものとして、このモニターを拝命してから、より一層阿賀野川に関心を持たせていただきました。

時には荒れ狂う激流を何度も経験し、また、時には清流で遊んだり、釣りを楽しんだり、時期折々の思い出を再認識いたしました。

〈事務所からのコメント〉

日々、阿賀野川に接しておられる方たちのおかげで、阿賀野川が今の姿であり続けてこられたのだと、改めて考えさせられました。

これからも機会あるごとに、阿賀野川にふれていただければと思います。

※複数のモニター報告を要約してあります。